

総務文教常任委員長 杉本 和彰

教育委員会 歳入教育手数料としまして公民館使用料約五十三万円体育施設使用料は約二百十三万円。教育費国庫補助金は、幼稚園就園奨励補助金約七十六万円（3分の1補助）田中城災害復旧工事費の50％七百七十五万円。肥後古代の森管理費が約千十六万円。歳出幼保小連携事業補助百十万円（菊水地区）国語力向上モデル事業補助金約壹百六万円（三加和地区）小学校については、賃金としまして菊水南小に複式学級のため二名で約七百八十万円。工事請負費が、約千四百万円。主なものとして中央小のプールろ過機取り替え工事約六百万円。緑小消防用配管工事約五百万円。使用料及賃借料千四百七十万円。これは、パソコン（138台）と三加和地区のタクシー料金となっております。中学校につきましては、修繕費として菊水中の体育館天井修理約二百万円、廊下床張り替え工事約八百万円。公共下水道による水切り替え工事費約二百万円。文化財保護費については、田中城公園管理委託料約三百万円。肥後古代の森清原台地一体樹木管理約千二百万円。田中城災害復旧工事約一千万円。文化財総務費は、文化財案内板設置工事十カ所約二百万円。文化財管理費、田中城跡管理など約千八百万円。学校給食センターは、浄化槽解体費約五百万円。宅内排水設備

工事約三十八万円等です。

税務住民課 歳入・町民税は、個人分現年課税分約二億円。本人分現年課税分約八千八百万円。固定資産税現年課税分約四億四千万円。旧菊水二億八千万円。旧三加和一億八千万円。軽自動車税約三千二百万円。タバコ税五千七百万円。環境衛生費・河川水質検査委託五万三千円（十二個所予定）。斎場費・修繕料として火葬炉内壁修理約三十六万円。バーナーオーバーホール約百十万円。せきすい斎苑負担金約五百八十万円。一部事務組合負担金としてグリーンパークファイブ費約七千万円。一市三町清掃施設建設費約二千万円。生ごみ処理機設置補助金二十七万円。

総務課 一般管理費として区長報酬約二千万円。下水道接続工事約八十万円。浄化槽解体工事二百万円。下水道負担金七万五千元。地方バス路線維持補助金約二千万円。交通安全対策費としまして、カーブミラー等の修繕五十万円。カーブミラー、ガードレールの施設工事約三百万円。国際交流費約百万円。防犯灯新設約二百万円。消防団報酬約一千万円、費用弁償約六百万円。消防ポンプ車両など修理六十万円。防火水槽設置工事約五百万円の六基。歳入地方交付税・普通交付税菊水町十二億円。三加和町十二億五千万円。特別交付税一億五千万円。住宅用地造成事業につきましては、五十二区画のうち五十一区画が分譲済である。歳出として団地内公園の排水工事、ポンプ施設雷防止工事七十九万円。春富財産区については、西吉地に約九万㎡、地目山林。上和仁に約一万㎡、地目保安林。計の約十万㎡。議会は十名削減にて約三百万円の削減であります。簡単ですが総務文教委員会の報告といたします。

厚生常任委員長 坂本 政光

厚生常任委員会は、6月21日、22日の2日間「特別養護老人ホーム」「和水町立病院」「健康福祉課」関連の予算審議を行った。

最初に、特別養護老人ホームから、施設介護費収入は制度改正により、食費の減額などがあり、二千数百万円の減収となる見込である。

又、デイサービス関係も認定調査基準の見直しにより、要介護度の判定が従来よりきびしい結果となっている。

歳出関係で、特に目立ったものとして、今年度は、特浴槽の購入に備品購入費として一千百万円のうち、八百万円が計上されている。

特老建設基金は当初予算で四千万円を計上してあり、収入減といえども、これだけの基金積立てが出来ると言うことは、素直に喜ぶべきことだろうと思う。

和水町立病院予算審議では18年度の総事業収益は、九億千五百三万円となっております内訳は、主なものとして、入院収益五億千九十二万二千円（55.8％）で、総事業費用は、収益と同額で、主なものとして医療費用として八億二千四百四十七万七千円（91.1％）であります。

本年度の病院経営の状況としては、4月からの診療報酬制度改正及び、7月からの改正による影響で4階病棟で月三百五十万円、3階で百五十万円、計五百万の減収が予想されることや、10月から高齢者の自己負担増という医療制度改革も行われることなどを考えれば、病院経営は益々厳しい状況になると思われるので、費用に関しては、人件費等義務的経費は削減できないので、臨時職員の配置等を考慮しながら、極力無駄な経費を削減し、健全な病院経営を行ってみたいと望む。

健康福祉課関係では、介護保険法の改正に伴いまして、在宅介護支援センター事業を廃止し、前年度まで行っていた、生きがいデイサービス、外出支援サービス等について、新たに、地域包括支援センター費の中で行うようになっていきます。

児童福祉総務で、約二億三千八百万円ありますが、子育て支援のための経費であります。私立保育の運営費一億七千七百二十三万四千円、延長保育千四百四十五万八千円、その他、3人目からの出生に対する出生手当四百二十万円、児童手当六千八百九十四万円が計上され、これまで小学3年生までの支給であったものが、本年4月から小学校卒業まで拡充された。

介護保険料は、第3期の計画につきましては、旧両町の合同委員会制度改正も含め、基準の第4段階で月額四千五百円です。

本町の今期の第1号被保険者の保険料につきましては、昨年度、県下で一番高いといわれていた、旧菊水町の保険料も、管内でも平均以下となっております。保険料の削減に向けた努力が現れたものと思う。

建設経済常任委員長 北原 芳史

建設経済常任委員会は、6月21日に所管課である建設課・経済課の平成18年度一般会計予算並びに特別会計予算の審査を行った。まず経済課関係予算についての審査を行ったが、全体的には前年とほぼ同額の予算計上がなされていた。その中で新規事業として、平成18年度モデル事業『農地・水・農村環境保全活動支援事業費』として、三十万六千円が計上されており、対象地区は、菊水西地区（内田・長小田・下久井原・上久井原）が上がっており、受益面積は28haとなっている。農業後継者対策関係予算では、新規営農者に対する補助金として本年度五名旧菊水二名・旧三加和三名）分、一人当たり二十万円の百万円が計上されており、又担い手育成総合支援事業では、1地区当たり二十万円の4地区分八十万円が、それぞれ計上されている。団体圃場整備事業関連では、本年度区画整理面積54haが計画されており、総事業費として約八千万円が見込まれている。その他経済課関係予算として、民家村のガラス工房の設計委託料二百三十万円が計上されている。

建設課関係の主な予算としては、道路改良費（旧菊水五路線、旧三加和二路線）で、二億八千二百二十万円が工事請負費として計上されており、その他

簡易水道事業会計で約三千九百万円、下水道事業会計で約一億二千二百万円、特定地域生活排水処理事業特別会計で約八千四百万円がそれぞれ建設関係事業費として計上されている。なお、建設課関係一般会計予算には六千四百五十六万円が繰り出し金として計上されている。

簡易水道事業関連では、工事請負費三百万円が計上されているが、その内容は、中央地区（立石）の配水管付設工事として、延長200mが計画されている。

下水道事業関連では、工事請負費六千万円が計上されているが、その内訳は、管工事三本で、工事箇所は玉名山鹿線（北原地区）、大江田・立石の一部、ロマン館関係となっている。その他に県道大牟田植木線（病院付近）のマンホールポンプ工事等が計画されている。特定地域生活排水処理事業関連では、浄化槽五十基分の工事請負費約六千万円が計上されており、環境浄化面からの普及促進に努めることになっている。

建設・経済課所管全体の予算審査を通じて、特に農業振興をはじめ道路改良並びに下水道事業等にかかる予算については、これまで以上に大変厳しい状況に変わりはなく、それだけに予算執行に当たっては、万全の努力を期するようお願いをして審査を終えた。

